



八戸市 都市計画 マスタープラン

平成30(2018)年3月



八戸市

はじめに



私たちのまち八戸市は、先人たちのたゆみない努力と豊かな自然や恵まれた地域資源、多様な産業や都市機能の集積と都市基盤の整備により、北東北の中核都市として発展してきました。

近年、我が国では急速な人口減少・超高齢社会の進展や、安心・安全の意識の高揚、地球規模での環境問題など、社会経済情勢は大きく変化しています。

当市においては、目指すべき都市の将来像の実現化に向けたまちづくりの基本方針として平成16(2004)年3月に策定した「八戸市都市計画マスタープラン」に基づき、都市の健全な発展に向けたまちづくりに取り組んできました。

しかしながら、策定から10年以上が経過し、今日に至るまで、平成29年1月の中核市への移行や、八戸圏域連携中枢都市圏連携協約の締結、旧南郷村との合併、また東日本大震災を契機とした防災意識の高揚、市民のライフスタイルの変化など新たな動きを受け、これまで以上に都市機能の効率的な配置や、人口密度の維持など、安心・安全かつ暮らしやすさに配慮した、持続性がある個性的なまちづくりが求められています。

このような時代の流れに適切に対応するため、マスタープランを改定いたしました。このたびの改定においては、これまでのマスタープランの基本的な方向性を継承しつつも、近隣町村との広域連携による発展を意識しながら、新たな雇用や交流などの受け皿づくりや、公共交通ネットワークの維持、また新たな視点として防災に配慮した方針を加えるなど、20年後の望ましい都市像を見据えた見直しを行いました。

まちの魅力の向上・維持のためには、行政によるまちづくり施策はもとより、市民一人一人の「市民力」の結集こそがまちづくりの原動力となることから、このマスタープランの基本理念の一つとして、「多様な担い手によるまちづくりの推進」を掲げております。マスタープランの将来都市像「えがおを はぐくむ えがおが つながる まち」、さらには中核市に相応しいまちの実現にむけ、全力を尽くしてまいりますので、市民の皆様には、本プランの推進にあたり、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本マスタープランの改定に当たりまして、多大な御支援と御協力を賜りました策定委員会の皆様、並びにまちづくり懇談会、ワーキング会議、パブリックコメントなどを通じ、貴重な御意見や御提言をお寄せいただきました多くの市民の皆様に対して、心からお礼を申し上げます。

平成30(2018)年3月

八戸市長 小林 眞

目次

序章

1

第1章

八戸市の概況と課題 5

- 1 八戸市の概況 6
- 2 社会情勢の変化と将来展望 19
- 3 都市計画に求められる課題 20

第2章

全体構想 21

- 1 都市計画の基本理念 22
- 2 将来都市像 23
- 3 将来都市構造 24
 - 3-1 将来都市構造の構築に向けた基本的な考え方 25
 - 3-2 将来都市構造の構成 27
 - 3-3 将来都市構造図 30
- 4 まちづくりの方針 32
 - 4-1 土地利用 32
 - 4-2 交通 36
 - 4-3 水とみどり 39
 - 4-4 景観 42
 - 4-5 防災 45
 - 4-6 その他都市施設 48
 - 4-7 協働のネットワーク 49

八戸市都市計画マスタープラン

第3章

地域別構想 51

1	地域別構想の概要	52
2	市川地域	54
3	下長地域	60
4	八戸駅周辺地域	66
5	中央地域	72
6	根城・田面木・新都市地域	80
7	湊・白銀・鮫地域	86
8	豊崎地域	92
9	館・是川地域	98
10	大館地域	104
11	南浜地域	110
12	南郷地域	116

第4章

計画の実現に向けて 123

1	基本的な考え方	124
2	実現への取り組み	128
3	進行管理	135

参考資料

1	策定の経緯	138
2	用語解説	146

